

どんど焼セットアップ

2024(R06)年1月14日(日)14時から菱沼八王子神社にてどんど焼が行われました。本書は、そこに至るまでの経過をまとめたものです。

当自治会も協賛団体の一員、12日から14日まで(13日は予備日)お手伝い頑張りました。

註) どんど焼の様子は、まちぢから協議会でアップされていますので参照ください：[菱沼八王子神社でのどんど焼 | 茅ヶ崎市小和田地区まちぢから協議会 \(chigasaki-machiren.org\)](https://chigasaki-machiren.org)

どんど焼用お飾り類，セットアップ完了した形です。



で，こうなる前の境内は下のような状況でした。



作業開始は9時からでしたが，皆さん既にゴソゴソと作業開始(とにかく分別なんです)。



ハイ、皆さん集合。段取りや注意点の連絡です。



ブルーシート上には分別された物品を「区分」して保管してあります。生木、紙主体、藁主体などなど。

達磨さん(赤いボールみたいですが)は底を抜いて密閉容器状態にはしていません(底抜き用の治具も用意されておりました)。



まず、どんど焼きの土台?設営。お焚き上げをした時、下方から空気が入るように。



最初に燃えやすい枯れ葉類を載せます。



次に主に紙類を載せていきます。



その上に乾燥した笹類を、これなら下に火を付けたら激しく燃えそう、危険じゃない？



最後に生木類を載せます。すぐに着火しないし、重しにもなるからですかね。写真の下では竹の加工が行われています：節と節の間の空間、密閉状態だと加熱されると中の空気が膨張して爆発しますからね。達磨さんの底抜きも同じ理屈です。

これで、目出度く最初のページのようにセットアップ完了です。これも伝統、いや伝承ですかね。



菱沼小和田自治会と言えば、手水舎(のお掃除)。本日はお掃除しませんでした。参拝に来られた方の面倒、よろしくお願いします。